

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-104	高等学校	地理歴史科	地図	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
2 東書	地図 701	新高等地図		

## 1. 編修の基本方針

日本を含む現代の世界では、高校生を取り巻く環境が大きく変化している。本地図帳は、学習指導要領に基づき、生徒が興味をもって地理的事象、歴史的背景、そして、現代社会で起こっている事象の意味や意義を理解することを目標とし、編修した。

### (1) 【全体】自然地理（地形）を重視した、見やすくわかりやすい地図帳

- ・人間の活動のベースとなっているのは、自然地理（地形）であるというコンセプトに基づき、一般図は地形をわかりやすく示すことを第一とし、地名などの情報は精選した。
- ・一般図は、A4判の判型を生かし、世界・日本とも広い範囲を図郭とする読み取りやすい紙面となるよう工夫した。

### (2) 【世界】重ね合わせたり、比べて考えたりすることができる地図帳

- ・巻頭では、人々の基本的な営みに関係する、地形・行政区画・気候と海流・植生にそれぞれ着目した四つの主題図（「世界の地形」・「世界の国々」・「世界の気候区と海流」・「世界の植生」）を用意し、相互に参照することで活用できるよう工夫した。
- ・世界の各州の冒頭には、同縮尺の「自然環境図」「領域図」「一般図」（オセアニアは「地形図」「領域図」のみ）を掲載し、用途によって地図を使い分けたり、重ね合わせたりして活用できるようにした。

### (3) 【日本】日本の各地域の特色がわかる地図帳

- ・日本の一般図は、八地方区分で掲載し、縮尺を100万分の1で統一して活用しやすくした（北海道のみ160万分の1）。
- ・日本図の冒頭に「日本の位置」の地図を掲載し、日本の最端の四つの島の写真も載せることで、国土についての理解を深められるようにした。
- ・一般図には、農産物から、工業製品、郷土料理まで、さまざまな産物の記号を配置し、産物そのものや、その産物が育まれた環境へ関心をもつことができるよう工夫した。
- ・大阪、京都、奈良、東京の拡大図（5万分の1）を掲載し、歴史的遺産や都市のランドマークが容易に確認できるようにし、地理の授業以外でも活用できるようにした。

### (4) 【巻末資料】充実した資料

- ・巻末統計を充実させ、世界の国々や日本の47都道府県のもつ特色や課題を把握できるようにした。また、4色ページとすることで見やすさを向上させた。
- ・「地図投影法(図法)」を見開きで掲載し、さまざまな図法を理解できるようにするとともに、「地図の方位と距離」で東京中心の正距方位図法の地図を大きく掲載した。

### (5) 【全体】今日的課題に関する内容が充実した地図帳

- ・日本の主題図では、外国人観光客・在留外国人に関するグラフ等の資料を見開きで掲載し、産業としての観光、多文化共生社会、外国人労働者の受け入れ拡大など、日本の今日的課題について考察する際活用できる資料を数多く掲載した。
- ・巻末には、自然災害に関する二つの特設ページを設けた。「新旧の地形図からみる自然災害と防災」では、雲仙普賢岳が位置する長崎県島原市を事例として取り上げ、地形図の活用が防災への取り組みへとつながることが理解できるようにした。「日本の自然災害」では、日本列島の自然災害地図などを掲載し、防災の学習で活用できるようにした。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
世界の地形 世界の国々 世界の気候区と海流 世界の植生帯	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭に、世界地理の学習に関する基本的な4点の主題図を配置し、基礎的かつ基本的な知識・技能を活用し、課題を追究する姿勢を養うことができるよう配慮した。(第1号・第4号)</li> </ul>	1-10 ページ
世界各州の地図・資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>各州の冒頭に、「自然環境図」「領域図」「一般図」を同じスケールで載せ、用途にあわせて使い分けながら地域を考察することができるよう配慮した。(第2号・第4号)</li> <li>各州の一般図は、国名や主要な都市名、自然地名などの基本的な情報を取り上げるとともに、主な産品を示すなど、各地方の特色をとらえやすくした。(第1号)</li> <li>主題図は、基礎的な内容を網羅することを重視しながら、現代的な諸課題も取り上げることで、生徒が課題意識をもち、当事者として課題を追究する姿勢を養うことができるようにした。(第3号・第5号)</li> </ul>	13-114ページ
日本の地図・資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の一般図は、すべての都道府県名、市町村名や主要な自然地名を掲載するとともに、索引でも全市町村名を網羅し、全国の市町村の位置をもれなく探することができるようにした。(第1号)</li> <li>日本の主題図では、観光と定住という二つの視点で外国人とのかかわりを取り上げ、多様性に配慮する態度を養うことができるよう配慮した。(第4号)</li> <li>歴史で活用できるように、歴史的な出来事や世界遺産を地図中に記載した。(第5号)</li> </ul>	115-150 ページ
巻末資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業に関する統計を新設し、地図とあわせて活用することで、資料を分析する力を培うことができるようにした。(第1号)</li> </ul>	151-186 ページ
後見返し	<ul style="list-style-type: none"> <li>過去に大規模な自然災害が発生した場所を事例とする大縮尺地形図の読み取りに関するページを新設し、地形図を活用した課題追究・課題解決に向けた主体的な学習が進められるよう配慮した。(第2号)</li> <li>日本の自然災害についての特設ページでは、日本列島の自然災害地図、主な気象災害の地図、主な自然災害の写真を載せ、防災・安全の意識を高めることができるようにした。(第4号)</li> </ul>	187-192 ページ

## 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

### ① 主題図などの内容の精選

主題図はできるだけ大きく掲載することに意を用い、掲載する点数を精選した。

### ② 彩色，製本，書体

彩色は、明るい色を採用し地図上の文字の可読性を高めた。製本は、複数年の使用に耐えるよう丈夫なかがり綴じを採用し、中央部が無理なく開くようにした。また、おもにユニバーサルデザインフォント（UDフォント）を採用し、ゴシック系の書体を使用することで文字の視認性を向上させ、読み取りやすさを向上させた。

### ③ ICT 教育への取り組み

インターネットを活用した学習が効果的な部分にはDマーク（デジタルマーク）を付し、クイズ形式で知識・技能を高めたり、国土地理院のデジタル地図「地理院地図」を参照したり、白地図データをダウンロードしたりすることができるようにした。

## 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-104	高等学校	地理歴史科	地図	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	地図 701	新高等地図		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

## ① 自然地理を重視し、情報を精選した、A4判の見やすい地図帳

## ① A4判を生かしたダイナミックな紙面

・大きな判型を生かし、一般図では情報を精選し、広い範囲にゆったりと掲載した。  
 ・冒頭には、折込で「世界の地形」と「世界の国々」、見開きで「世界の気候区と海流」「世界の植生帯」という4点の主題図を配置し、相互に参照しながら世界を大観することができるようにした。

## ② 明るく見やすい一般図で地形をつかむ

・地図帳の基本である世界の一般図は、文字が見やすく、明るい色合いの等高段彩図で統一し、人の動きの基本となる地形をわかりやすく示した。

## ③ 豊富な拡大図でより詳しく学ぶ

・世界の一般図は、大陸図とともに、地域図や扱う頻度が高い地域を詳しく表現した地域拡大図を適宜掲載し、学習内容にあわせて使い分けができるようにした。

・都市の拡大図は、世界（ロンドン、パリなど）、日本（大阪、京都、東京など）の都市を主に5万分の1で掲載し、歴史的建造物などの所在地を容易に確認できるようにした。

## ② 現代的な諸課題への理解を促す地図帳

## ① テーマを精選した主題図

・世界の各大陸などの主題図では、基礎的な資料と、当該地域の抱える現代的な課題の両面からテーマを精選し、無理なく資料活用を高めることができるようにした。

・日本の主題図は、観光と定住という視点から日本に滞在する外国人をテーマに構成し、産業としての観光や交通、地域の国際化など、さまざまな学習で活用できるようにした。

## ② 自然災害について考察できる巻末折込

・巻末折込には、日本の自然災害について考察を深めることができる二つの特設ページを設けた。一つは、長崎県島原市付近に焦点を当て、新旧の地形図3点を掲載することで、災害で変容した地形や、地域での防災の取り組みなど、防災の学習に地形図が活用できるようにした。もう一つの「日本の自然災害」では、日本全体の自然災害地図、主な気象災害の地図、主な災害の写真を掲載し、防災の学習に効果的に活用できるようにした。

## ③ 調べやすさ・活用しやすさを重視した地図帳

## ① 地図を探しやすくするインデックス

・偶数ページに、地域ごとに色分けをしたインデックス（爪掛け）をつけることで、本を閉じた状態でも、調べたい世界の州や日本の地方をすぐに開くことができるようにした。

## ② 情報が探しやすい索引ページ

・索引は項目の探しやすさを考慮した書体・文字の大きさとし、活用しやすくした。

## ④ 歴史的背景や地域を意識することができる地図帳

## ① 地歴科・公民科の他科目において活用できる地図や主題図

・見開きで「地中海周辺」（69-70ページ）の地図を掲載して「地中海世界」を一目で捉えられるようにし、世界史において地中海世界の果たした役割がわかるようにした。

・「パレスチナ問題」の学習で活用できるよう、「イスラエル周辺」の地図を大きく掲載するとともに、主題図として「パレスチナ紛争」を取り上げた（45ページ）。

## ② 領土にかかわる問題の学習に活用できる地図

・「日本の位置」の地図や、「北方領土の変遷」の地図を掲載した（115-116ページ）。

## ③ 地域の理解を深めることができる絵記号

・日本の一般図では、適所に絵記号を入れ、地域の特産品、郷土料理や伝統工芸への理解を深めることができるようにした。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所
<b>世界図（世界全体）</b> 世界の地形，世界の国々 世界の気候区と海流 世界の植生帯	「地理総合」 A-(1)， B-(1) 「地理探究」 A-(1)， B-(1)， (2)	1-10ページ
<b>世界図（諸地域）</b> アジア大陸， アフリカ大陸， ヨーロッパ大陸， 北アメリカ大陸， 南アメリカ大陸， オセアニア， 環太平洋， 環大西洋， 北極圏， 南極圏	「地理総合」 A， B 「地理探究」 A， B	13-114ページ
<b>日本図</b> 日本の位置， 日本の行政区分， 日本の各地方図， 日本の主題図 地形図， 日本の自然災害	「地理総合」 C 「地理探究」 C	115-150， 187-192ページ
統計資料	「地理総合」 A， B， C 「地理探究」 A， B， C	151-164ページ